

Ⅲ. 研究

9. 邦文誌編集委員会

委員長 平松 昌子

1. 邦文誌（日本外科学会雑誌）について

日本外科学会雑誌は、年間6巻（通常号6巻）を発行している。その編集作業のため邦文誌編集委員会を6カ月に1度程度開催している。

また、令和6（2024）年3月までに第125巻第2号を会員に配本した。

2. 概要について

・通常号

- 1) 発行は、隔月（奇数月）とする。
- 2) 頁数は、基本的に1号あたり150頁程度とする。
- 3) 配本は、平成29（2017）年の第118巻より希望制を開始している。
- 4) 定価は、1冊あたり990円（税込）とする。

・Online Journal

- 1) 令和2（2020）年度より、論文以外の有料会告・集談会記事等（企業広告、外科専門医試験問題解説を除く）も公開している。なお、第121巻より会員、非会員問わず閲覧できるようにしている。ただし、最新巻は会員のみ閲覧できることとする。

・年間購読料（非会員向け）

- 1) 臨時増刊号「定期学術集会日程号」の発行取り止めに伴い、令和2（2020）年の年間購読料（全6冊）から5,720円（税込）に引き下げた。

・臨時増刊号

- 1) 「定期学術集会日程号」は、令和2（2020）年より発行を取り止めた。

3. リニューアルについて

日本外科学会では、英文誌「Surgery Today」「Surgical Case Reports」も発刊しており、原著論文や症例報告はそちらに譲り、邦文誌では主に総論的、領域横断的なテーマ、手術のコツ等、日本語の方が理解が容易である内容を中心に扱うこととした。

1) 表紙デザイン

前回の雑誌リニューアルから約10年が経ったので、改めて企画のリニューアルを行った。新しい表紙のデザインの公募を行ったところ、多数の応募をいただき、厳正なる審査の結果、金光真治正会員（愛知厚生連安城更生病院）のデザイン案を採用することとした。

2) フルカラー化

3) 執筆者の顔写真掲載

4) 一部企画の変更

「特集」→ 掲載頁数を増やして掲載。

「手術の tips and pitfalls」→ 1号につき2企画（4編）に増やして掲載。

5) 新企画「誰もが輝ける外科の未来へ」の掲載開始

これまでは依頼論文として掲載していた「理想の男女共同参画を目指して」と「若手外科医の声」の両企画を統合し、新企画として「誰もが輝ける外科の未来へ」を第125巻第1号（令和6年1月発行）から掲載を開始した。なお、この新企画では依頼論文だけではなく、一般投稿も受け付ける。

この「誰もが輝ける外科の未来へ」は、外科のダイバーシティのさらなる推進を目指して、外科医の働き方や、若手・女性外科医の活躍や育成、シニアキャリアなどをテーマとした論文を掲載する。

4. 掲載企画について

・依頼原稿

- 1) Editorial（編集委員による）
- 2) 会員へのメッセージ（各委員会の委員長から会員へ、委員会の現状や課題をテーマとした企画）
- 3) 先達に聞く（名誉会長や名誉会頭、名誉会員、特別会員、各編集委員・幹事の恩師などからの若手外科医に対する助言や過去の経験談をテーマとした企画）
- 4) 誰もが輝ける外科の未来へ（外科医の働き方や、若手・女性外科医の活躍や育成、シニアキャリアなどをテーマとした企画）
- 5) 特集（編集委員による、主に各専門領域をテーマとした企画）
- 6) 会員のための企画（編集幹事による、会員に役立つような内容をテーマとした企画）
- 7) 医療訴訟事例から学ぶ（弁護士立場から過去の医療訴訟事例を解説した企画）
- 8) 手術の tips and pitfalls（編集幹事による、図を中心とした手術の工夫やコツをテーマとした企画）
- 9) 講演の記録（定期学術集会「特別企画」の記録を掲載する企画）
- 10) 特別寄稿（編集委員・幹事による臨時の企画）

・一般投稿論文

- 1) 論文種別は、『会員からの寄稿』『誰もが輝ける外科の未来へ』のみとする。
- 2) 投稿規定は、以下の通りとする。

【会員からの寄稿】

原稿字数 4,000 字以内（4 頁以内）

1. 図表・写真は、1点につき原稿 400 字相当として換算し、原稿字数内に含める（4点以内）。
2. 内容要旨・英文抄録・索引用語の字数は、原稿字数内に含める。
3. タイトル頁に題名、所属機関名、氏名の英語表記をつける。

【誰もが輝ける外科の未来へ】

原稿字数 2,400 字以内（2 頁以内）

キーワード：五語以内（必須）

見出し：内容要旨 I. はじめに・・・★. おわりに とする。

1. 図表・写真は、1点につき原稿 400 字相当として換算し、原稿字数内に含める。
2. 内容要旨・英文抄録・索引用語の字数は、原稿字数内に含める。
3. タイトル頁に題名、所属機関名、氏名の英語表記をつける。

・その他

- 1) 集談会記事（抄録は除く）を無料で受け付けている。
- 2) 理事会ニュース等の会告は、本会ホームページでの公開に一本化している。なお、必要と認められた会告については随時掲載することとしている。

5. 執筆料（謝金）、掲載料について

財務委員会と検討し、平成 30（2018）年度より以下のとおりとしている。（全て税込）

・執筆料（謝金）

- 1) 会員は無料，非会員は 30,000 円。

・掲載料

- 1) 「会員からの寄稿」は、33,000 円（4 頁以内）、「誰もが輝ける外科の未来へ」は、16,500 円（2 頁以内）。どちらも超過分は 1 頁毎に 16,500 円。
- 2) 有料会告（会告・学会案内・地方会案内など）は、22,000 円。

6. その他について

・配本希望制

- 1) 配本，送料にあたっての会費以外の料金徴収はしない。
- 2) 配本を希望しない場合でも，会員は Online Journal より閲覧が可能である。
- 3) 配本希望の申し出を受けた場合は，改めて配本中止の申し出があるまで，継続して配本する。
- 4) 途中で配本中止の申し出を受けた場合は，原則として翌年発行の巻から配本中止とする（当該年の第 6 号までは配本する）。
- 5) 配本を希望しなかった場合も，改めて配本希望の申し出があれば，その翌年発行の巻から配本する。

・「医療訴訟事例から学ぶ」の書籍販売

第 104 巻第 6 号（平成 15/2003 年発行）から第 116 巻第 6 号（平成 27/2015 年発行）までに掲載した 87 事例から 47 事例を抜粋し，平成 28（2016）年 4 月から書籍（電子書籍を含む）として販売している。

なお，販売は全て出版社である株式会社杏林舎に委託している。

・転載許諾

- 1) 審査については，委員会にて定めた以下の規定に従い，原則委員長判断により許諾を判断する。規定外の申請については委員会にて審議し，決定する。

①転載先が下記のいずれかであること。

- | | |
|---|---------------------------|
| { | ・学術・教育活動（論文，学会発表，業績集等を含む） |
| | ・医療関連企業等の印刷物・ウェブサイト等 |
| | ・出版社等の印刷物・ウェブサイト等 |
| | ・その他（委員会で認められたもの） |

②転載点数が，1 論文あたり原則として 3 点以内であること。

③修正がないこと。（原則的に図表を含めて修正は認めていない。）

④「日本外科学会雑誌第○巻第○号（○年）より転載」の一文が明記されていること。

その他の事項は，STM 出版ガイドラインに準ずる。

2) 転載料については、徴収することとし、転載料は以下のとおりとする。

| 種 別 | 転載料 |
|-----------------------------|-------------------|
| 1) 学術・教育活動（論文、学会発表、業績集等を含む） | 無料 |
| 2) 医療関連企業等の印刷物・ウェブサイト等 | 55,000 円（媒体ごとに徴収） |
| 3) 出版社等の印刷物・ウェブサイト等 | 55,000 円（媒体ごとに徴収） |
| 4) その他（委員会で認められたもの） | 原則、55,000 円 |

※税込とする。

※出版物で 5,000 部を超過する場合は、1,000 部追加ごとに 5,500 円（税込）徴収する（2022 年 9 月 12 日より）。

ただし、ウェブサイトについては閲覧数等を問わないこととする。

・過去の日本外科学会雑誌の Online Journal 化

会員の学術的な利便性を高めるため、日本外科学会雑誌の印刷業等の委託業者である大村印刷株式会社と協力しながら、過去の第 1 巻（明治 33/1900 年）から第 105 巻（平成 16/2004 年）までも閲覧できるよう準備を進めている。なお、過去の論文は個人情報が入っているものがあるため、Online Journal のセキュリティを強化、検索機能の強化を行い、準備が整い次第順次遡って公開していく予定である。

・複写権委託

一般社団法人学術著作権協会には、冊子版、ならびに電子版の複写権を管理委託している。

・出版物の寄贈

国立国会図書館に、冊子版のみ納入している。

10. 英文誌編集委員会

委員長 長谷川 潔

1. 英文誌（Surgery Today）について

本誌は、年間 12 冊、電子ジャーナルを含めて約 40,000 部を発行している。令和 5（2023）年中に 741 編の投稿があった。同年発行の第 53 巻には 165 編が掲載され、令和 5（2023）年の採用率は 20.1%であった。

平成 23（2011）年 11 月より Online First での出版を開始している。Online First の出版により号の出版を待たずに論文ごとの電子版の出版が可能となり、入稿から掲載までの期間は約 1 カ月となっている。Online First に掲載された論文は、電子版出版は正式な出版と認められており DOI（Digital Object Identifier）のコードにより、頁なしでも引用可能である。令和 5（2023）年の Online First の出版による論文数は、Original：125 編、How To Do It：7 編、Review Article：9 編、Short Communication：8 編、Others：6 編となっている。

2. Surgery Today Table of Contents について

平成 28（2016）年 2 月より Springer Nature 社へ会員のメールアドレスを提供しており、オプト・アウト方式で会員各位に毎月配信を行っている。

3. Impact Factor について

令和4(2022)年のImpact Factor(IF)は、小数点第1位までの表記となり、2.5となった。

4. 優秀論文賞 (Best Surgery Today Award) について

令和4(2022)年に掲載された論文(vol.52)を対象として、一般・小児、消化管(上部・下部)、呼吸器、乳腺・甲状腺、心臓血管、肝胆膵・移植の7分野で授賞者を決定した。

①一般・小児

大西 峻(鹿児島大学医学部附属病院)

Optimal timing of definitive surgery for Hirschsprung's disease to achieve better long-term bowel function 52 : 92-97

②消化管(上部消化管)

庄田 勝俊(山梨大学医学部外科学講座第1教室)

Dynamics of glucose levels after Billroth I versus Roux-en-Y reconstruction in patients who undergo distal gastrectomy 52 : 889-895

③消化管(下部消化管)

安井 昌義(大阪国際がんセンター消化器外科)

Risk factors for postoperative proximal deep vein thrombosis and pulmonary embolism after laparoscopic colorectal cancer surgery : analysis of a multicenter randomized controlled trial 52 : 881-888

④呼吸器

師田 瑞樹(東京大学医学部附属病院呼吸器外科)

Effect of intraoperative needle biopsy on the survival of nonsmall cell lung cancer patients : a propensity score matching analysis 52 : 1497-1503

⑤乳腺・甲状腺

正木 千恵(伊藤病院)

Predictors of maximum efficacy of lenvatinib for real-world patients with differentiated thyroid carcinoma 52 : 1660-1669

⑥心臓血管

藤森 智成(自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科)

An increased prothrombin time-international normalized ratio in patients with acute type A aortic dissection : contributing factors and their influence on outcomes 52 : 431-440

⑦肝胆膵・移植

深瀬 正彦(東北大学大学院医学系研究科消化器外科学)

Intravenous injection of human multilineage-differentiating stress-enduring cells alleviates mouse severe acute pancreatitis without immunosuppressants 52 : 603-615

5. Citation Award について

令和5(2023)年のCitation Awardとして7名の授賞者を決定した。

①並川 努(高知大学医学部外科学講座外科)

Systemic inflammatory response and nutritional biomarkers as predictors of nivolumab efficacy for gastric cancer 50 : 1486-1495

②富永 哲郎（がん研有明病院）

Prognostic nutritional index and postoperative outcomes in patients with colon cancer after laparoscopic surgery 50 : 1633-1643

③高館 達之（東北大学大学院医学系研究科外科）

Staging laparoscopy is mandatory for the treatment of pancreatic cancer to avoid missing radiologically negative metastases 51 : 686-694

④大平 将史（北海道大学大学院）

Association of inflammatory biomarkers with long-term outcomes after curative surgery for mass-forming intrahepatic cholangiocarcinoma 50 : 379-388

⑤武藤 充（鹿児島大学医学部附属病院小児外科）

An overview of the current management of short-bowel syndrome in pediatric patients 52 : 12-21

⑥池田 徳彦（東京医科大学呼吸器・甲状腺外科学分野）

The impact of COVID-19 on surgical procedures in Japan : analysis of data from the National Clinical Database 52 : 22-35

⑦七戸 俊明（北海道大学大学院消化器外科学分野 II）

Cadaver surgical training in Japan : its past, present, and ideal future perspectives 52 : 354-358

6. Best Reviewer Award について

選出方法は Completed 数の上位 5 名で、授賞後 5 年間は再授賞できないルールに従って、令和 4（2022）年の Best Reviewer Award として 6 名の授賞者を決定した（同数が複数名いたため）。

①戸島 剛男（九州大学病院消化器・総合外科）

②春木孝一郎（東京慈恵会医科大学附属病院外科）

③東 陽子（東邦大学医療センター大森病院呼吸器外科）

④藤井 正一（横浜総合病院）

⑤家入 里志（鹿児島大学医学部附属病院）

⑥丸橋 繁（福島県立医科大学肝胆膵・移植外科学講座）

7. 契約について

出版委託業者の Springer Nature 社との現在の契約は令和 8（2026）年 12 月末までなので、その間に競合他社との相見積などによって選定作業を行うこととした。

8. その他

IF 向上の一環として Surgery Today Vol. 51-53 の論文リストを引用して頂くよう分野別リストを作成して編集委員に配布した。

Surgery Today

ScholarOne Manuscripts™ 論文投稿・審査状況報告

2023年12月31日現在

1. 論文種類別 投稿数 (投稿日による集計)

| | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
|------------------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|
| Case Report | 753 | 409 | 2 | | | | | | | | |
| Clinical Original | 465 | 423 | 485 | 511 | 474 | 579 | 533 | 758 | 648 | 586 | 559 |
| Experimental Original | 56 | 56 | 65 | 51 | 48 | 66 | 55 | 76 | 66 | 53 | 47 |
| How To Do It | 38 | 48 | 50 | 55 | 49 | 52 | 63 | 98 | 60 | 60 | 39 |
| Invited Review Article | 8 | 11 | 8 | 12 | 5 | 9 | 13 | 9 | 2 | 2 | |
| Letter to the Editor | 9 | 13 | 4 | 9 | 15 | 7 | 9 | 12 | 6 | 17 | 10 |
| Other | 3 | 19 | 12 | | | | | | | | |
| Review Article | 47 | 50 | 62 | 45 | 39 | 54 | 74 | 107 | 74 | 75 | 55 |
| Short Communication | 15 | 30 | 49 | 27 | 26 | 34 | 22 | 63 | 24 | 30 | 31 |
| 総計 | 1394 | 1059 | 737 | 710 | 656 | 801 | 769 | 1123 | 880 | 823 | 741 |
| 月平均 | 116 | 88 | 61 | 59 | 55 | 67 | 66 | 94 | 73 | 69 | 62 |

※ 取り下げられた論文 (Withdrawn) は含まない

2. 論文種類別 判定結果と採択率 (最終判定日による集計)

| | 2021 | | | 2022 | | | 2023 | | |
|------------------------|------------|------------|--------------|------------|------------|--------------|------------|------------|--------------|
| | Accept | Reject | 採択率 | Accept | Reject | 採択率 | Accept | Reject | 採択率 |
| Case Report | | | | | | | | | |
| Clinical Original | 172 | 496 | 25.7% | 127 | 464 | 21.5% | 115 | 427 | 21.2% |
| Experimental Original | 16 | 51 | 23.9% | 10 | 48 | 17.2% | 4 | 41 | 8.9% |
| How To Do It | 10 | 48 | 17.2% | 6 | 53 | 10.2% | 8 | 34 | 19.0% |
| Invited Review Article | 2 | 1 | 66.7% | 2 | | 100.0% | | | |
| Letter to the Editor | 4 | 2 | 66.7% | 11 | 6 | 64.7% | 4 | 5 | 44.4% |
| Review Article | 20 | 56 | 26.3% | 11 | 65 | 14.5% | 6 | 46 | 11.5% |
| Short Communication | 3 | 23 | 11.5% | 4 | 23 | 14.8% | 8 | 23 | 25.8% |
| 総計 | 227 | 677 | 25.1% | 171 | 659 | 20.6% | 145 | 576 | 20.1% |

3. 地域別 投稿数（投稿日による集計）

| | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
|----------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|
| Africa | 9 | 11 | 16 | 14 | 8 | 12 | 12 | 21 | 14 | 12 | 19 |
| Americas | 43 | 42 | 21 | 22 | 15 | 19 | 8 | 36 | 27 | 19 | 11 |
| Asia | 483 | 402 | 207 | 206 | 170 | 266 | 260 | 407 | 309 | 356 | 295 |
| Europe | 259 | 172 | 136 | 104 | 112 | 125 | 122 | 149 | 98 | 71 | 45 |
| Japan | 596 | 430 | 355 | 363 | 350 | 378 | 344 | 505 | 429 | 364 | 370 |
| Oceania | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | 5 | 3 | 1 | 1 |
| 総計 | 1394 | 1059 | 737 | 710 | 656 | 801 | 769 | 1123 | 880 | 823 | 741 |

4. 地域別 判定結果（最終判定日による集計）

| | 2021 | | | 2022 | | | 2023 | | |
|----------|------------|------------|--------------|------------|------------|--------------|------------|------------|--------------|
| | Accept | Reject | 採択率 | Accept | Reject | 採択率 | Accept | Reject | 採択率 |
| Africa | 2 | 12 | 14.3% | | 12 | 0.0% | 1 | 19 | 5.0% |
| Americas | 1 | 29 | 3.3% | 2 | 16 | 11.1% | 4 | 8 | 33.3% |
| Asia | 29 | 289 | 9.1% | 23 | 337 | 6.4% | 9 | 278 | 3.1% |
| Europe | 5 | 90 | 5.3% | 10 | 64 | 13.5% | 4 | 41 | 8.9% |
| Japan | 190 | 254 | 42.8% | 136 | 229 | 37.3% | 127 | 229 | 35.7% |
| Oceania | | 3 | 0.0% | | 1 | 0.0% | | 1 | 0.0% |
| 総計 | 227 | 677 | 25.1% | 171 | 659 | 20.6% | 145 | 576 | 20.1% |

5. カテゴリー別 判定結果 (最終判定日による集計)

| | 2021 | | | 2022 | | | 2023 | | |
|--------------------------------|-----------|------------|--------------|-----------|------------|--------------|-----------|-----------|--------------|
| | Accept | Reject | 採択率 | Accept | Reject | 採択率 | Accept | Reject | 採択率 |
| Adrenal gland | | 2 | 0.0% | | 1 | 0.0% | | 1 | 0.0% |
| Clinical Original | | 2 | 0.0% | | 1 | 0.0% | | 1 | 0.0% |
| Experimental Original | | | | | | | | | |
| Anus | 1 | 11 | 8.3% | 1 | 2 | 33.3% | | 7 | 0.0% |
| Clinical Original | 1 | 11 | 8.3% | 1 | 1 | 50.0% | | 5 | 0.0% |
| Experimental Original | | | | | 1 | 0.0% | | 2 | |
| Bile ducts/Gall bladder | 8 | 31 | 20.5% | 5 | 26 | 16.1% | 2 | 28 | 6.7% |
| Clinical Original | 8 | 28 | 22.2% | 5 | 24 | 17.2% | 2 | 27 | 6.9% |
| Experimental Original | | 3 | 0.0% | | 2 | 0.0% | | 1 | 0.0% |
| Breast | 3 | 23 | 11.5% | 3 | 19 | 13.6% | 3 | 13 | 18.8% |
| Clinical Original | 3 | 22 | 12.0% | 3 | 19 | 13.6% | 3 | 11 | 21.4% |
| Experimental Original | | 1 | 0.0% | | | | | 2 | 0.0% |
| Cardiovascular | 13 | 17 | 43.3% | 6 | 24 | 20.0% | 8 | 29 | 21.6% |
| Clinical Original | 13 | 16 | 44.8% | 5 | 21 | 19.2% | 8 | 27 | 22.9% |
| Experimental Original | | 1 | 0.0% | 1 | 3 | 25.0% | | 2 | 0.0% |
| Colon/Rectum | 43 | 109 | 28.3% | 33 | 102 | 24.4% | 17 | 84 | 16.8% |
| Clinical Original | 38 | 104 | 26.8% | 32 | 92 | 25.8% | 16 | 83 | 16.2% |
| Experimental Original | 5 | 5 | 50.0% | 1 | 10 | 9.1% | 1 | 1 | 50.0% |
| Esophagus | 8 | 12 | 40.0% | 9 | 20 | 31.0% | 5 | 21 | 19.2% |
| Clinical Original | 8 | 12 | 40.0% | 8 | 20 | 28.6% | 5 | 19 | 20.8% |
| Experimental Original | | | | 1 | | 100.0% | | 2 | 0.0% |
| Liver | 15 | 47 | 24.2% | 5 | 35 | 12.5% | 6 | 32 | 15.8% |
| Clinical Original | 13 | 41 | 24.1% | 4 | 33 | 10.8% | 6 | 29 | 17.1% |
| Experimental Original | 2 | 6 | 25.0% | 1 | 2 | 33.3% | | 3 | 0.0% |
| Lung/Mediastinum | 24 | 65 | 27.0% | 17 | 51 | 25.0% | 30 | 38 | 44.1% |
| Clinical Original | 22 | 58 | 27.5% | 17 | 47 | 26.6% | 30 | 33 | 47.6% |
| Experimental Original | 2 | 7 | 22.2% | | 4 | 0.0% | | 5 | 0.0% |

| | 2021 | | | 2022 | | | 2023 | | |
|------------------------------|-----------|-----------|--------------|-----------|-----------|--------------|-----------|-----------|--------------|
| | Accept | Reject | 探択率 | Accept | Reject | 探択率 | Accept | Reject | 探択率 |
| Others | 19 | 79 | 19.4% | 14 | 69 | 16.9% | 15 | 66 | 18.5% |
| Clinical Original | 17 | 66 | 20.5% | 10 | 56 | 15.2% | 14 | 53 | 20.9% |
| Experimental Original | 2 | 13 | 13.3% | 4 | 13 | 23.5% | 1 | 13 | 7.1% |
| Pancreas | 16 | 32 | 33.3% | 4 | 31 | 11.4% | 5 | 37 | 11.9% |
| Clinical Original | 14 | 27 | 34.1% | 4 | 29 | 12.1% | 5 | 35 | 12.5% |
| Experimental Original | 2 | 5 | 28.6% | | 2 | 0.0% | | 2 | 0.0% |
| Pediatric surgery | 10 | 13 | 43.5% | 5 | 23 | 17.9% | 10 | 14 | 41.7% |
| Clinical Original | 10 | 12 | 45.5% | 5 | 21 | 19.2% | 10 | 14 | 41.7% |
| Experimental Original | | 1 | 0.0% | | 2 | 0.0% | | | |
| Plastic surgery | 1 | 13 | 7.1% | | 14 | 0.0% | | 16 | 0.0% |
| Clinical Original | 1 | 11 | 8.3% | | 12 | 0.0% | | 14 | 0.0% |
| Experimental Original | | 2 | 0.0% | | 2 | 0.0% | | 2 | 0.0% |
| Portal hypertension | | 2 | 0.0% | | 3 | 0.0% | | 1 | 0.0% |
| Clinical Original | | 2 | 0.0% | | 3 | 0.0% | | 1 | 0.0% |
| Experimental Original | | | | | | | | | |
| Stomach/Duodenum | 26 | 64 | 28.9% | 25 | 60 | 29.4% | 14 | 43 | 24.6% |
| Clinical Original | 24 | 60 | 28.6% | 24 | 56 | 30.0% | 13 | 40 | 24.5% |
| Experimental Original | 2 | 4 | 33.3% | 1 | 4 | 20.0% | 1 | 3 | 25.0% |
| Thyroid/Head and neck | 1 | 9 | 10.0% | 8 | 15 | 34.8% | 1 | 14 | 6.7% |
| Clinical Original | | 8 | 0.0% | 7 | 14 | 33.3% | 1 | 14 | 6.7% |
| Experimental Original | 1 | 1 | 50.0% | 1 | 1 | 50.0% | | | |
| Vascular | | 13 | 0.0% | 2 | 13 | 13.3% | 3 | 11 | 21.4% |
| Clinical Original | | 11 | 0.0% | 2 | 11 | 15.4% | 2 | 10 | 16.7% |
| Experimental Original | | 2 | 0.0% | | 2 | 0.0% | 1 | 1 | 50.0% |

以上

11. Case Report 誌編集委員会

委員長 碓 氷 章 彦

1. 投稿状況について

Surgical Case Reports は、平成 27 (2015) 年 1 月 17 日に創刊し、9 年目に入った。

令和 2 (2020) 年 8 月 17 日より、掲載料 (Article Publishing Charge) を著者負担分 230 ユーロから 460 ユーロ (日本円約 60,000 円) へと変更した。論文の投稿状況は、令和 5 (2023) 年 666 編となり、著者負担分を増額しても、影響を受けておらず、2022 年は 581 編とはなっているものの、この数年にわたっては、600 編台を目指す投稿数となっており、増加の傾向をたどっている。

2. 契約本数について

年間の契約掲載数は、著者負担を 460 ユーロ (日本円約 60,000 円) に変更した結果、250 編程度が掲載可能となった。

3. 優秀論文賞 (Best Surgical Case Reports Award) について

令和 2 (2020) 年と令和 3 (2021) 年に掲載された論文 (Vol. 6, 7) を対象として、例年の如く選定条件を Citation 数 (1 回~6 回まで) かつ Download 数 (600 回以上) として、2 つの条件を充足した論文を抽出したところ、論文数が絞り切れなかったため、掲載からの期間を考慮して 2020 年は Citation が 4 回以上、2021 年は Citation が 2 回以上として絞り込んだところ、審査可能な論文数となった。

領域毎に審査を行い、授賞者を決定した。

①山田 浩平 (地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館)

A case of idiopathic myointimal hyperplasia of the mesenteric veins presenting with small bowel obstruction 2021 7 : 17

②神谷 綾子 (国立がん研究センター胃外科)

Recurrence after ESD curative resection for early gastric cancer 2021 7 : 5

③田淵 悟 (東京医科大学八王子医療センター)

Verrucous carcinoma of the esophagus : a case report and literature review 2020 6 : 35

④豊田 怜 (中津市立中津市民病院)

Mesenteric venous thrombosis as a rare complication of decompression sickness 2020 6 : 24

⑤大矢 雄希 (熊本労災病院)

Conversion hepatectomy for advanced hepatocellular carcinoma after right portal vein transection and lenvatinib therapy 2020 6 : 318

⑥宮崎 克己 (徳島大学医学部附属病院)

Pancreatoduodenectomy co-morbid with celiac axis compression syndrome : a report of three cases 2020 6 : 113

⑦木原悠花梨 (関西労災病院)

Migration of non-absorbable polymer clips in hepato-biliary-pancreatic surgery : a report of four cases 2021 7 : 183

⑧太田 英理（東京医科大学病院）

Ruptured mediastinal mature teratoma causing severe mediastinitis: report of a surgically resected case and a literature review 2021 7: 48

⑨鈴木 陽子（岡山大学病院）

Recurring radiation-induced angiosarcoma of the breast that was treated with paclitaxel chemotherapy: a case report 2020 6: 25

⑩前田 裕斗（熊本大学医学部附属病院）

Ultrasound-guided non-invasive retraction for strangulated obturator hernia allows elective radical surgery: analysis of 12 cases 2021 7: 83

4. Best Reviewer Award 選定について

Surgery Today と同様に、授賞後 5 年間は再授賞できないルールに従った。また、複数名が同点であったため、令和 4（2022）年の Best Reviewer Award として 7 名の授賞者を決定した。

①岡住 慎一（東邦大学医療センター佐倉病院外科）

②稲木 紀幸（金沢大学医薬保健研究域消化管外科/乳腺外科）

③西村 健（兵庫県災害医療センター）

④福地 稔（地域医療機能推進機構群馬中央病院）

⑤藤代 準（東京大学医学部附属病院小児外科）

⑥播本 憲史（群馬大学医学部附属病院）

⑦新木健一郎（群馬大学大学院総合外科学肝胆膵外科）

5. Impact Factor について

Clarivate Analytics 社の方針変更により、Web of Science の掲載 journal の中でも、これまでも「Science Citation Index Expanded (SCIE)」というインデックスに登録された journal のみを Impact Factor (IF) 公表の対象としていたが、2023 年より「Emerging Source Citation Index (ESCI)」登録の journal も IF 付与の対象となった。Surgical Case Reports は ESCI に分類されており、2022 年の IF は、0.8 であった。

6. 契約について

出版委託業者の Springer Nature 社との契約は、令和 6（2024）年 12 月末までなので、コンペティションを行って応募のあった 3 社を客観的に評価した結果、令和 7（2025）年 1 月からの委託業者は、国際文献社となった。

7. ジャーナルについて

ジャーナルタイトル：Surgical Case Reports <http://www.surgicalcasereports.com/>

出版形式：オンラインジャーナル、オープンアクセス出版

出版頻度：年 1 巻（採用順にオンライン出版）

掲載内容：Case Report, Letter to the Editor

出版開始：2015 年 1 月 17 日

出版費用：Article Publishing Charge (APC)

定価（一般、非会員向け）£980/\$1,535/€1,250

会員向け割引価格 £360/\$565/€460（2023 年 1 月 1 日に €460 に対する £, \$ レート改訂予定）

電子投稿査読システム Editorial Manager

(<https://www.editorialmanager.com/sucr/default1.aspx>) より投稿

投稿に関する詳細については, Submission Guidelines (投稿規定)

<https://surgicalcasereports.springeropen.com/submission-guidelines> を参照

Surgical Case Reports
論文投稿・審査状況報告

2024年1月22日更新

1. 論文種類別投稿数 (投稿日による集計)

| Article Type | 2016 Total | 2017 Total | 2018 Total | 2019 Total | 2020 Total | 2021 Total | 2022 Total | 2023 Total | 2024 YTD |
|----------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|----------|
| Case Report | 400 | 421 | 407 | 442 | 689 | 667 | 577 | 658 | 46 |
| Letter to the Editor | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 2 | 0 | 8 | |
| Editorial | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 | 0 | |
| Total | 413 | 421 | 408 | 446 | 691 | 669 | 581 | 666 | |

月別投稿数

| Month | Jan | Feb | Mar | Apr | May | Jun | Jul | Aug | Sep | Oct | Nov | Dec | Total |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 2021 | 64 | 72 | 77 | 62 | 51 | 58 | 60 | 44 | 44 | 37 | 48 | 52 | 669 |
| 2022 | 52 | 52 | 60 | 58 | 48 | 44 | 44 | 54 | 42 | 39 | 42 | 46 | 581 |
| 2023 | 52 | 51 | 57 | 56 | 57 | 45 | 55 | 61 | 49 | 55 | 54 | 71 | 666 |
| 2024 | 46 | | | | | | | | | | | | |

2. 国別投稿/採択数

国別投稿数 (投稿日による集計)

| Country | #submission |
|---------------------------|-------------|
| JAPAN | 419 |
| CHINA | 30 |
| UNITED STATES | 18 |
| IRAN, ISLAMIC REPUBLIC OF | 16 |
| EGYPT | 11 |
| INDIA | 10 |
| SAUDI ARABIA | 10 |
| SYRIAN ARAB REPUBLIC | 9 |
| AUSTRALIA | 8 |
| ARGENTINA | 7 |
| ITALY | 7 |
| PAKISTAN | 7 |
| 5x5 submissions | 25 |
| 6 x 4 submissions | 24 |
| 6x3 submissions | 18 |
| 11x2 submissions | 22 |
| 25x 1 submission | 25 |

国別採択数 (最終判定日による集計)

| Country | 2023 |
|---------------|------|
| JAPAN | 204 |
| BELGIUM | 2 |
| GREECE | 2 |
| SWITZERLAND | 2 |
| UNITED STATES | 2 |
| AUSTRALIA | 1 |
| ARGENTINA | 1 |
| CAMEROON | 1 |
| CHINA | 1 |
| ECUADOR | 1 |
| FRANCE | 1 |
| ISRAEL | 1 |
| ITALY | 1 |

2023年に投稿を受け付けた国、地域数：66 採択された論文の投稿があった国、地域数：15

3. 論文種類別 判定結果と採択率 (最終判定日による集計)

| Year | Article Type | Case Report | Letter to the Editor | Editorial | Total |
|------|--------------|----------------|----------------------|-----------|--------|
| 2015 | Accept | 114 | 1 | 0 | 115 |
| | Reject | 349(237) | 2(1) | 0 | 351 |
| | Accept Rate | 24.60%(50.4%) | 33.30% | NA | 24.70% |
| 2016 | Accept | 156 | 0 | 0 | 156 |
| | Reject | 243(147) | 0 | 0 | 243 |
| | Accept Rate | 39.10%(61.9%) | NA | NA | 39.10% |
| 2017 | Accept | 128 | 0 | 0 | 128 |
| | Reject | 290(234) | 0 | 0 | 290 |
| | Accept Rate | 30.60%(69.60%) | NA | NA | 30.60% |
| 2018 | Accept | 144 | 1 | 0 | 145 |
| | Reject | 174 (69) | 0 | 0 | 174 |
| | Accept Rate | 45.5%(59.2%) | NA | NA | 45.5% |
| 2019 | Accept | 221 | 1 | 0 | 222 |
| | Reject | 203 | 2 | 0 | 205 |
| | Accept Rate | 52.1% | 33% | NA | 51.9% |
| 2020 | Accept | 315 | 2 | 0 | 317 |
| | Reject | 301 | 0 | 0 | 301 |
| | Accept Rate | 51.1% | 100% | NA | 51.1% |
| 2021 | Accept | 248 | 0 | 0 | 248 |
| | Reject | 365 | 1 | 0 | 366 |
| | Accept Rate | 40.4% | 0% | NA | 40.4% |
| 2022 | Accept | 223 | 1 | 0 | 224 |
| | Reject | 314 | 3 | 0 | 317 |
| | Accept Rate | 41.53% | 25% | NA | 41.40% |
| 2023 | Accept | 221 | 0 | | 221 |
| | Reject | 357 | 3 | | 360 |
| | Accept Rate | 38.24% | 0% | | 38.04% |

4. 国内・外 判定結果と採択率 (最終判定日による集計)

| | | JAPAN | Overseas | Total |
|------|---------|-------|----------|--------|
| 2015 | Accept | 105 | 10 | 115 |
| | Reject | 139 | 212 | 351 |
| | %Accept | 43.0% | 4.50% | 24.70% |
| 2016 | Accept | 146 | 10 | 156 |
| | Reject | 196 | 47 | 243 |
| | %Accept | 42.7% | 17.50% | 39.10% |
| 2017 | Accept | 126 | 2 | 128 |
| | Reject | 254 | 36 | 290 |
| | %Accept | 33.2% | 5.30% | 30.60% |
| 2018 | Accept | 139 | 6 | 145 |
| | Reject | 146 | 28 | 174 |
| | %Accept | 48% | 17.64% | 45.45% |
| 2019 | Accept | 209 | 13 | 222 |
| | Reject | 159 | 46 | 205 |
| | %Accept | 56% | 22% | 51.9% |
| 2020 | Accept | 300 | 17 | 317 |
| | Reject | 251 | 50 | 301 |
| | %Accept | 54.4% | 25.3% | 51.3% |
| 2021 | Accept | 231 | 17 | 248 |
| | Reject | 265 | 101 | 366 |
| | %Accept | 46.6% | 14.4% | 40.4% |

| | | | | |
|------|---------|--------|-------|--------|
| 2022 | Accept | 216 | 8 | 224 |
| | Reject | 204 | 107 | 317 |
| | %Accept | 51.4% | 6.9% | 41.4% |
| 2023 | Accept | 203 | 18 | 221 |
| | Reject | 187 | 173 | 360 |
| | %Accept | 52.05% | 9.4% | 38.04% |
| 2024 | Accept | 19 | 2 | 21 |
| | Reject | 13 | 10 | 23 |
| | %Accept | 59.3% | 16.7% | 47.7% |

5. 審査日数 (最終判定日による集計)

| 項目 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|-------------------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 投稿～Accept までの平均日数 | 92.4 | 89.7 | 90.65 | 85.9 | 75 | 75 | 80 | 75 | |
| 投稿～Reject までの平均日数 | 21.6 | 9.8 | 17.62 | 25.2 | 32 | 31 | 28 | 30 | |

各 editorial stage での平均所要日数(全論文対象)

| 項目 | From submission to 1 st decision | From 1 st to final decision | From submission to final decision |
|------|---|--|-----------------------------------|
| 2017 | 16.3 days | 17.86 days | 35.23 days |
| 2018 | 28.79 days | 23.66 days | 52.15 days |
| 2019 | 29.55 days | 26.56 days | 55.64 days |
| 2020 | 28.30 days | 26.0 days | 54.31 days |
| 2021 | 29.03 days | 20.09 days | 49.12 days |
| 2022 | 33.70 days | 21.28 days | 54.98 days |
| 2023 | 31.29 days | 16.73 days | 48.02 days |
| 2024 | | | |

カテゴリー別 投稿数 (投稿日による集計)

| Classification | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
|-------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| Adrenal gland | 8 | 4 | | 1 | 2 | 2 | 9 | 4 | 10 |
| Anus | 5 | 4 | 5 | | 6 | 6 | 5 | 9 | 8 |
| Bile ducts/Gall bladder | 34 | 20 | 23 | 27 | 18 | 28 | 33 | 21 | 26 |
| Breast | 22 | 8 | 19 | 14 | 9 | 20 | 15 | 18 | 24 |
| Cardiovascular | 28 | 32 | 26 | 25 | 34 | 40 | 55 | 42 | 43 |
| Colon/Rectum | 71 | 45 | 48 | 50 | 38 | 66 | 63 | 65 | 72 |
| Emergency | 92 | 46 | 43 | 37 | 27 | 63 | 68 | 59 | 85 |
| Esophagus | 18 | 9 | 16 | 9 | 15 | 25 | 21 | 20 | 32 |
| Genetics | | 2 | 2 | 3 | 5 | 3 | 5 | 1 | |
| Liver | 26 | 23 | 42 | 21 | 30 | 34 | 42 | 31 | 49 |
| Lung/Mediastinum | 38 | 34 | 39 | 26 | 18 | 39 | 67 | 43 | 59 |
| Medical Oncology | 1 | 21 | 17 | 18 | 26 | 21 | 33 | 20 | |
| Pancreas | 17 | 16 | 41 | 19 | 29 | 31 | 34 | 35 | 27 |
| Pathology | 6 | 29 | 26 | 14 | 24 | 27 | 36 | 19 | |
| Pediatric surgery | 18 | 12 | 24 | 10 | 17 | 20 | 30 | 27 | 24 |
| Plastic surgery | 20 | 9 | 5 | 7 | 9 | 16 | 13 | 12 | |
| Portal hypertension | 3 | 3 | | 1 | 1 | 4 | 2 | 1 | 6 |
| Radiation Therapy | | 4 | 2 | 6 | 2 | 7 | 3 | 2 | |
| Stomach/Duodenum | 55 | 32 | 34 | 33 | 44 | 45 | 43 | 39 | 58 |
| Thyroid | 20 | 8 | 4 | 8 | 6 | 13 | 14 | 10 | 10 |
| Vascular | 24 | 18 | 19 | 15 | 14 | 23 | 36 | 22 | 33 |

| | | | | | | | | | |
|--------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| (peripheral/vein) | | | | | | | | | |
| Grand Total | 506 | 379 | 435 | 344 | 374 | 533 | 627 | 541 | 314 |

※1 論文で複数のカテゴリーを選んでいる場合は全てのカテゴリーをカウント

カテゴリー別 採択数 (判定日による集計)

| Category | 2020 | | 2021 | | 2022 | | 2023 | |
|-------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 採 択 数 | 採 択 率 | 採 択 数 | 採 択 率 | 採 択 数 | 採 択 率 | 採 択 数 | 採 択 率 |
| Adrenal gland | | 0% | | 0% | 2 | 40.0% | 1 | 11% |
| Anus | 4 | 33% | 5 | 50% | 6 | 50.0% | 5 | 33% |
| Bile ducts/Gall bladder | 23 | 34% | 16 | 35% | 21 | 48.8% | 19 | 45% |
| Breast | 19 | 31% | 13 | 43% | 13 | 44.8% | 17 | 41% |
| Cardiovascular | 13 | 19% | 18 | 27% | 15 | 24.6% | 7 | 17% |
| Colon/Rectum | 64 | 34% | 51 | 46% | 28 | 30.4% | 49 | 41% |
| Emergency | 38 | 28% | 41 | 41% | 37 | 41.1% | 30 | 26% |
| Esophagus | 30 | 37% | 13 | 38% | 15 | 42.9% | 21 | 41% |
| Genetics | | 0% | 4 | 44% | 2 | 66.7% | | |
| Liver | 48 | 38% | 37 | 46% | 32 | 52.5% | 34 | 47% |
| Lung/Mediastinum | 35 | 32% | 37 | 40% | 32 | 41.6% | 26 | 33% |
| Medical Oncology | 26 | 36% | 19 | 36% | 15 | 37.5% | | |
| Pancreas | 37 | 35% | 28 | 45% | 34 | 53.1% | 24 | 49% |
| Pathology | 30 | 37% | 24 | 41% | 15 | 44.1% | | |
| Pediatric surgery | 19 | 35% | 17 | 43% | 22 | 44.9% | 21 | 42% |
| Plastic surgery | 3 | 15% | 2 | 15% | 1 | 7.7% | | |
| Portal hypertension | 4 | 33% | 1 | 33% | 3 | 75.0% | 2 | 29% |
| Radiation Therapy | 1 | 14% | 5 | 71% | 3 | 50.0% | | |
| Stomach/Duodenum | 54 | 36% | 38 | 47% | 40 | 52.6% | 39 | 41% |
| Thyroid/Head and neck | 6 | 27% | 6 | 38% | 6 | 35.3% | 3 | 25% |
| Vascular (peripheral/vein) | 11 | 24% | 11 | 24% | 7 | 24.1% | 6 | 18% |

※1 論文で複数のカテゴリーを選んでいる場合は全てのカテゴリーをカウント

[参考]

Surgical Case Reports 2022年のImpact Factor

2 years Impact Factor: 0.8

計算式: $(A+B)/(a+b)$

| | |
|------------------------|---------|
| 2020年に出版された論文の被引用回数(A) | 289 |
| 2021年に出版された論文の被引用回数(B) | 176 |
| 2020年の出版論文数(a) | 312 |
| 2021年の出版論文数(b) | 267 |
| Surgery分野における順位 | 220/284 |
| 自己引用を除いたImpact Factor | 0.8 |

12. 臨床研究推進委員会

委員長 宇山 一朗

1. 「日本外科学会臨床研究助成」, 及び「若手外科医のための臨床研究助成」の授賞者について

令和5年度も「日本外科学会臨床研究助成」(500万円×1件)と「若手外科医のための臨床研究助成」(100万円×5件)の募集を行い、審査した。

【日本外科学会臨床研究助成】(JSS Clinical Investigation Project Award) 授賞者 1名

3件の研究課題の申請があり、委員全員で以下の1題採択した。

・津谷 康大(近畿大学呼吸器外科部門)

「臨床病期 IA3 期の肺野末梢充実型非小細胞肺癌に対する肺葉切除と区域切除のランダム化比較試験 (WJOG16923L : STEP UP)」

【若手外科医のための臨床研究助成】(JSS Young Researcher Award) 授賞者 5名

30件の研究課題の申請があり、申請者が申請された分野に基づき、分野毎の委員に依頼し、複数の分野に跨る課題の場合は、該当するすべての分野の委員に依頼し、1次審査を行った。その後、各課題の平均点数を算出した上で、最終選考を行い、以下の5課題を選定し、委員全員で5題採択(最終審査)した(分野毎の諾否ではないため、授賞は選採分野に影響されない旨記載している)。

(五十音順)

・篠塚 高宏(名古屋大学消化器外科学)

「胃癌における新規血清腫瘍マーカーの診断能を検証する多施設共同国際前向き観察研究」

・高田 和樹(福岡県済生会福岡総合病院外科)

「進行・再発非小細胞肺癌患者に対する免疫チェックポイント阻害薬治療における腸内細菌由来短鎖脂肪酸の臨床的意義」

・高見 尚平(日本赤十字社医療センター小児外科)

「マウスにおける膵胆管合流異常症発症回避プロセスの解明」

・向山 順子(国際医療福祉大学三田病院消化器外科)

「遺伝子特性に応じた難治性大腸癌に対する最適化治療の確立」

・和田 佑馬(徳島大学消化器移植外科)

「エクソソームに着目した消化器癌における化学療法耐性獲得メカニズムの解明」

2. 令和4年度臨床研究助成「日本外科学会臨床研究助成」, 及び「若手外科医のための臨床研究助成」の授賞式について

令和5年度「日本外科学会臨床研究助成」, 及び「若手外科医のための臨床研究助成」の授賞者の授賞式は、第124回定期学術集会の3日目にあたる令和6年4月20日(土)に執り行う。なお、この授賞式のセッションには、これまでの臨床研究助成授賞者の成果発表も組み込んでいる。

3. 臨床研究セミナー(eラーニング)について

従来の参集形式から、eラーニング形式に切り替わったことに伴い、毎年のように企画を立てる必要はなくなったことから、「観察研究の統計」と「臨床試験の統計」のテーマをセットにしたコンテンツを、5

年に1回の頻度で制作して、差し替えることとした。

令和5年度は、以下をeラーニングで配信した。

- ・大庭 幸治（東京大学生物統計学分野）「臨床試験における統計的観点を踏まえた結果の読み方」
- ・室谷 健太（久留米大学バイオ統計センター）「観察研究の統計解析」

4. NCD データを利用した複数領域にまたがる臨床研究について

NCD データを利用した臨床研究は、当該学会が所管するデータ以外の領域にまたがる研究を行おうとする場合には、個別に該当する学会の承諾を得た上で、主たる学会からNCDに申請する必要があるが、手続きに煩雑な点がある。そこで、複数領域にまたがるNCDデータの利用につきまして、円滑な協議に資するため、学会間の交渉機関として、「NCD 臨床研究推進委員会」（各領域の学会とNCDの代表者が加わった拡大的な組織）が設置されている。

1) 複数領域の定義について

「複数領域にまたがる」ことの定義の認識に齟齬があったことから、学会単位ではなく、あくまでもデータベース上の領域の枠組みを基準として考え、各領域枠のデータベースにまたがった場合が、「複数領域にまたがる」という定義であることを改めて確認した。

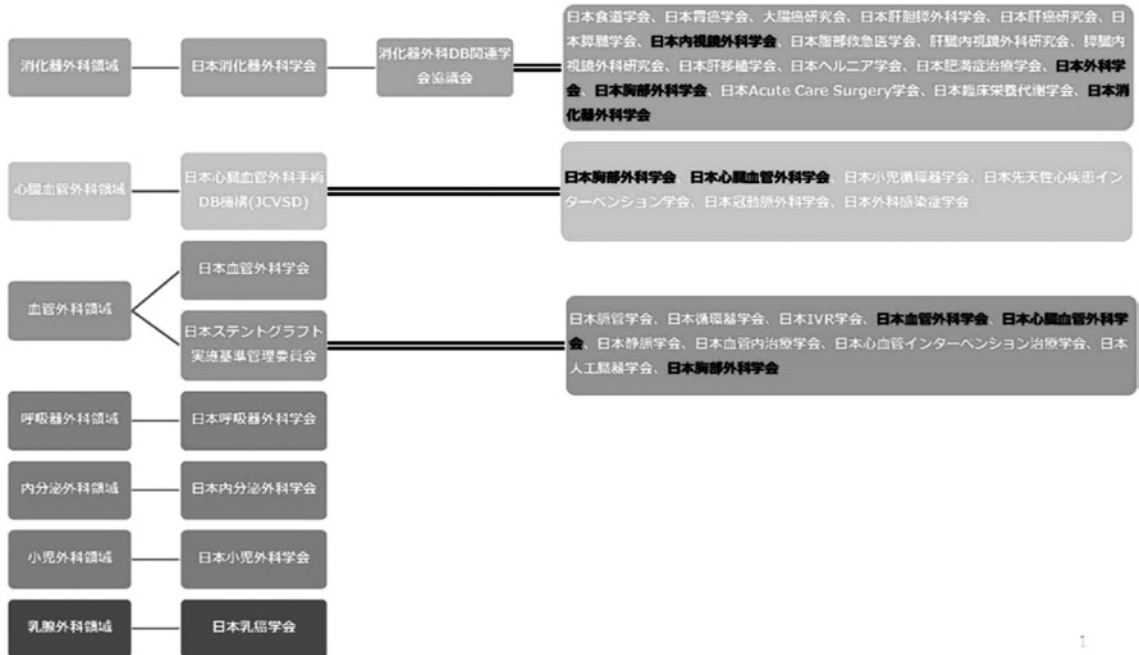


領域の枠組みにおける注釈 (データベースの分類)

- ・研究テーマが、左記の複数の領域枠にまたがる場合、「外科横断研究」として扱う。
- ・研究計画書に学会単位ではなく、使用予定のデータベースを記載いただきたい。
- ・外科学会所轄の「外科共通」は、各データベースに既に含まれる項目である。
- ・左記の同一の領域内であっても、データベースの所轄学会が異なる場合があるため、追加の許諾を必要とする場合がある。

2) NCD データベースの所轄について

前述1)の領域の枠組みを基準と考えた場合のデータベースの所轄を確認すべく、あらかじめ「NCD 臨床研究推進委員会」参加学会に対して、当該領域の関連学会などと協議の場を設けられているか否かについて照会を行った。日本消化器外科学会の「消化器外科データベース関連学会協議会」と同様のスキームを想定した照会であったが、その回答を基にNCDデータベースの取次先の窓口を示した図が、以下である。この図に沿って改めて確認を行った結果、特に認識に相違は無かったことから、今後はこの図を基に、「NCD 臨床研究推進委員会」から各領域の取次先窓口にてデータベースの利用許諾についての連絡を取ることとした。



3) 令和5年度の申請研究課題について

令和5年度も募集したところ、日本小児外科学会より「小児、AYA 世代肝細胞癌の診療状況調査」の1件の申請がなされ、各領域のNCDデータベースの所轄学会にデータ利用等の許諾を得たことから、NCDに実現可能性の審査、協議を依頼した。

1) 利益相反委員会

委員長 宇山 一朗

本委員会は、外科研究の利益相反に関する指針に基づき、役員等から提出された利益相反自己申告書の管理、利益相反自己申告書に対して、疑義もしくは社会的・法的問題が生じた場合の対応等を目的としている。

1. 『日本医学会 診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス 2023』一部改定案について

日本医学会より、2017年に策定された『日本医学会 診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス』の改定準備を進める上で、「『日本医学会 診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス 2023』改定案」と、その「改定案」に付随する「一部改定内容」が届き、本委員会で確認し、承認した。

2. 役員等の利益相反自己申告書について

役員等の利益相反自己申告書対象245名から提出されている。また、提出された「役員等の利益相反自己申告書」は本学会事務所で厳重に管理している。

なお、現在の本学会の「役員などの利益相反自己申告書」はWeb回答フォームを介して回収している

が、利便性の向上などのため、他学会に倣って専用システムを導入する方針を採ることとし、臨床研究法の改定に伴う国による電子化の動きも注視しながら、まずは情報収集を開始することとした。

3. 「外科研究の利益相反に関する指針」について

日本医学会の「COI管理ガイドライン」や「診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス」などの改正に合わせて、本学会の「外科研究の利益相反に関する指針」も改訂することが理事会から諮問されたことから、本学会では診療ガイドラインを作成していないことも踏まえて、検討を行った。その結果、引き続き該当者のCOIの開示は求めるものの、制限を厳しくして活動が制約されないように、上限金額などを定めることなく、あまりに高額な授受などがあった場合には「COI状態の深刻度」という観点で評価（審査）する方針を採ることとし、実際の「外科研究の利益相反に関する指針」の文言の改訂などについては継続審議とした。

13. 国際委員会

委員長 湊 谷 謙 司

1. 外国人名誉会員について

新外国人名誉会員として、第1号議案で報告のあったRené Adam先生を推薦した。

推薦にあたっては、本会の外国人名誉会員としてのクオリティ保持を目的として、令和4（2022）年度より追加された推薦規定「本会への貢献度」も考慮している。

2. 若手外科医の学術交流制度（旅費給付）について

American College of Surgeons（ACS）とGerman Society of Surgery（GSS）とは、それぞれの学術集會にお互いの学会から推薦のあった若手外科医を1名ずつ招聘し、学術発表の機会を与える交流を行っている。

【ACS】

第109回ACS出席（令和5年）本会からACSへ参加

→坊岡 英祐 正会員（浜松医科大学外科学第二講座）

第124回（令和6年）ACSから本会定期学術集會へ参加

→本年度の対象者は無し

第110回ACS出席（令和6年）本会からACSへ参加予定

→庄司 佳晃 正会員（東海大学医学部外科学系消化器外科学）

第125回（令和7年）ACSから本会定期学術集會へ参加予定

→未定

※第110回ACS出席者まで決定しているため、来年（第111回）のACS参加者を今年の9月～11月に募集予定である。選考においては発表予定の抄録と業績を中心に評価する。

【GSS】

本会からGSSへ参加予定

→奥野 将之 正会員（京都大学肝胆膵・移植外科）

GSS から本会定期学術集会へ参加予定

→ Sven Arke Lang 先生 (Department of General, Visceral and Transplant Surgery, University Hospital Essen)

※新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染拡大や会期重複などにより, 令和 2 (2020) 年度以降, 交流を中断していたが, 令和 6 (2024) 年度から再開予定である.

※来年度の GSS 出席者は, 今年の 5 月~7 月に募集予定である. 選考においては発表予定の抄録と業績を中心に評価する.

3. 各国際学会代表講演について

学術集会で各学会の代表者の講演を行っている. 第 124 回では, 以下の 6 名に講演いただくこととなった.

【American College of Surgeons (ACS)】 Henri Ronald Ford 先生

【German Society of Surgery (GSS)】 Christiane Bruns 先生 (代理: Thomas Schmidt 先生)

【Society of University Surgeons (SUS)】 Timothy Donahue 先生

【Royal College of Surgeon (RCS)】 Timothy Mitchell 先生

【College of Surgeons of East, Central and Southern Africa (COSECSA)】 Fualal Jane Odubu 先生

【The Association of Surgeons of India (ASI)】 Probal Neogi 先生

4. Academic Surgical Congress (ASC) との交流について

Society of University Surgeons (SUS) と Association for Academic Surgery (AAS) の合同年次総会である Academic Surgical Congress (ASC) では, 本会から毎年約 10 演題が受け入れられており, 当会会員の ASC 学術集会への参加費は本会で負担することとしている.

令和 5 年 2 月 6 日~8 日に開催された第 19 回 ASC には, 本委員会による審査で選ばれた以下の 8 名が本会代表演者として発表した. また, 本会の代表者として理事長と委員長が参加した.

菅野 千晶 正会員 (東京医科大学呼吸器・甲状腺外科)

白石 卓也 正会員 (群馬大学消化管外科)

伊勢田憲史 正会員 (九州大学消化器・総合外科 (第二外科))

今岡 祐輝 正会員 (広島大学消化器・移植外科)

林 輝 正会員 (信州大学消化器・移植・小児外科)

田部 俊輔 正会員 (千葉大学臓器制御外科, 東京大学再生医学分野)

田嶋 哲也 正会員 (京都大学肝胆膵・移植外科)

杉田光士郎 正会員 (鹿児島大学小児外科)

※次回の第 20 回 ASC 出席者は, 今年の 5~7 月を募集期間とする予定である.

5. ドイツ外科学会との交流について

ドイツ外科学会とはお互いの学術集会において, ジョイントセッションを開催している. 今年は以下のプログラムを開催する.

【第 141 回ドイツ外科学会・日独合同セッション (於ライプツィヒ)】

日 時: 令和 6 (2024) 年 4 月 25 日 (木) 8:00~9:00

テーマ: Robotics and/or Artificial intelligence

司会：亀井 尚先生（東北大学消化器外科），Christiane Bruns 先生，Jens Werner 先生，Noriyuki Inaki 先生（GSS）

- 1) Academic surgical oncology-integrated approach from basic research to clinical health care for upper GI and HPB cancer
 - ・ Speaker from Germany : Christiane Bruns 先生
- 2) Progress on AI utilization in Surgery
 - ・ Speaker from Japan : 江口 晋先生（長崎大学移植・消化器外科）
- 3) Current status of robotic colorectal cancer surgery in Japan
 - ・ Speaker from Japan : 絹笠 祐介先生（東京医科歯科大学消化管外科学分野）

【7th JSS/GSS Topic Conference】

日 時：令和 6（2024）年 4 月 18 日（木）15：10～17：10

テーマ：Robotic surgery

司会：Christiane Bruns 先生（代理：Thomas Schmidt 先生）（GSS），竹内 裕也先生（浜松医科大学外科学第二講座）

- 1) Current status of robotic colorectal cancer surgery in Japan
 - ・ Speaker from Japan : 絹笠 祐介先生（東京医科歯科大学消化管外科学分野）
- 2) Robot-assisted pediatric surgery-What system
 - ・ Speaker from Germany : Udo Rolle 先生
- 3) Quality control of minimally invasive pancreaticoduodenectomy in Japan
 - ・ Speaker from Japan : 永川 裕一先生（東京医科大学消化器・小児外科学分野）
- 4) Update on Pancreatic Robotic Surgery-Evidence and Current Practice in Europe
 - ・ Speaker from Germany : Jens Werner 先生（代理：Bernhard Renz 先生）

6. 英国外科学会 International Surgical Training Programme (ISTP) について

ISTP は英国の Royal College of Surgeon が運営しており，英国以外の若手外科医師が英国各地の病院の外科，外傷外科，救急を含む様々な診療科で臨床研修が出来る制度である。

これまで，以下の 2 名が IELTS の基準をクリアし，研修を行っている。

第 1 期生：田村 亮 正会員（高島市民病院外科；小児外科）

→ New Castle 大学（The Great North Children Hospital）修了

第 2 期生：佐藤 力弥 正会員（虎の門病院消化器外科）

→ Colchester General Hospital 修了

IELTS の基準をクリアしているものの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により現在も研修先の選考手続きに遅延が生じている。そのため，昨年 6 月に委員長が再度渡英のうえ，RCS の ISTP 担当理事へ手続きの進展を強く要望するなど継続的に働きかけている。

本会の選考を通過した候補者は以下の 5 名である。

平岩 伸彦 正会員（東京大学心臓外科）

杉本 卓哉 正会員（熊本赤十字病院国際医療救援部外科・小児外科）

北田 智弘 正会員（大阪市立大学小児外科）

遠藤 睦子 正会員（Radboud University Medical Center Surgical Oncology）

→今年10月より Royal London Hospital で研修開始予定.

関岡 明憲 正会員 (静岡県立こども病院小児外科)

※上記の他に第4期生として2名が、IELTSのクリアを目指している.

※上記候補者の進捗状況に鑑み、現在本会での募集は停止している.

7. 南アフリカとインドとの交流について

将来計画委員会「国際化推進」ワーキンググループにおいて、南アフリカとインドを中心とした国際交流促進が検討され、アフリカの COSECSA とインドの ASI の会長を本会定期学術集会上に招待することを開始している.

また、COSECSA と ASI については、各学会から選出された若手外科医 (各3名) に本会がトラベルグラント (COSECSA : 4,000 ドル, ASI : 2,000 ドル) を支給し発表の機会を提供している. また、発展途上国への貢献事業として日本の施設見学のサポートも行っており、各受賞者が希望する施設を会期前後に見学予定である.

第124回の受賞者は、以下の6名である.

【COSECSA】

Yves Yankunze 先生

James Kariuki 先生

Lele Mutombo Fabrice 先生

【ASI】

Tahir Bashir Dar 先生

Amartya Sengupta 先生

Sugata Bhattacharjee 先生